

優しい暮らし

丁寧に暮らす。暮らしを楽しむ。

yukobo letter

優建築工房便り

No.2

2013年10月号



【発行元】
株式会社優建築工房
〒243-0815
神奈川県厚木市妻田西1-20-8
TEL046-294-4500 FAX. 046-294-4561

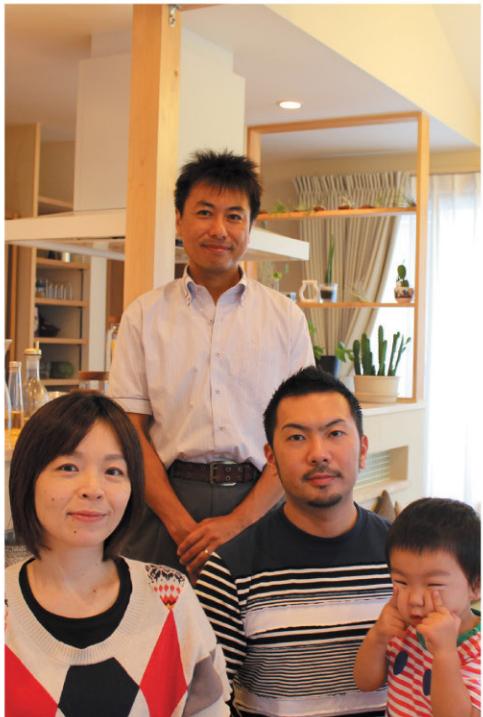
人に優しく、環境に優しく、優れた技術
優建築工房 検索



一言芳恩

一言芳恩(いちごんほうおん):あの時、ひとこと声をかけていただいた感謝を忘れずに…

優建築工房 お宅訪問



I様ご家族と設計担当の友坂

頂いたプランはリビングが2階と考えつかなかつた間取りでしたが、住んでみるとリビングは明るくなり優しい陽差しで和みます。風の通りを考えただけあり、空気の流れも良く嫌だった湿気も感じません。2階は桧床と珪藻土壁の効果もあり洗濯物は部屋干しでも嫌な臭いもなく乾き助かります。畳コーナーは寝転んだり、寄掛つたりと大きなソファのように使え、そこで遊ぶ子供にも目が届き安心して家事ができるようになりました。

リフォーム後の今、 思うこと

頂いたプランはリビングが2階と考えもつかなかつた間取りでしたが、住んでみるとリビングは明るくなり優しい陽差しで和みます。風の通りを考えただけあり、空気の流れも良く嫌だった湿気も感じません。2階は桧床と珪藻土壁の効果もあり洗濯物は部屋干しでも嫌な臭いもなく乾き助かります。畳コーナーは寝転んだり、寄掛つたりと大きなソファのように使え、そこで遊ぶ子供にも目が届き安心して家事ができるようになりました。

リフォームして 良かつたこと

我が家はリビングが2階と想定されていました。見積りをとった中で資料の印象が良かったこと、こだわりがあるところ、環境を考えた丁寧なプランだったこと、家は箱なので中のデザイン性も充分に考え、幾度も話し合いに応じてくれたことから信頼できると思いました。

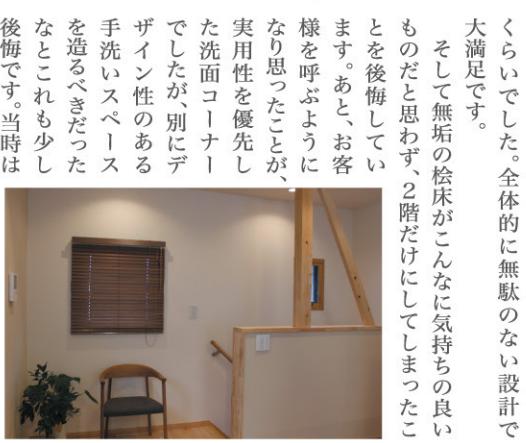
業者探し

れます。また、周辺の音が入らず喧騒から離れ、夜は音楽を小さなステレオでかけだけで室内に響き

たり、隠れ家的な雰囲を堪能しながらの読書が楽しみとなりました。お客様にも「カフエみたいな家だね」と言われ、人を呼びたくなる家になりました。使用していた愛着のある家具も内装に合わせリメイクしてもらえたことも嬉しかったです。



家の途中で



リビングから続く階段スペース



時間により影が変わる幽玄な雰囲気を眺めることが奥様のお気に入り

正直、完成するまでは不安でいっぱいでした。照明ひとつとっても配置間隔や大きさに不安があり、これで大丈夫と言われるでもやつぱり不安でした。住み始めて、彩度も良く無駄のない配置にやつぱりプロはすごい!と思いまし

たよ。アドバイス通りにして本当に良かつたと思います。エアコンもリビングには戸がないので、1階へ空気が流れると思い2台と考

えました。でもとにかく1年暮らしてみてから検討して欲しいと友坂さんに言われ、1台初めての夏を過ごましたが猛暑も充分快適でした。冬場は日当たりも手伝うので寒さも全く問題なく過ごせそうだなと思っています。

電気代も気になりましたが以前より安くなつた

アドバイスを受けても予算の事もあり、何を重要視するか、選んだつもりでしたが、暮らしでみると分からぬことが多い難しいことだと思いました。子供の成長に合わせ、またリフォームすることになるので、その時は今回のことを活かし、またお願ひしたいです。

大満足です。
そして無垢の桧床がこんなに気持ちの良いものだと思わず、2階だけにしてしまったことを後悔しています。あと、お客様を呼ぶように思つたことが、実用性を優先した洗面コーナーでしたが、別にデザイン性のある手洗いスペースを造るべきだったなどこれも少し後悔です。当時はアドバイスを受けても予算の事もあり、何を重要視するか、選んだつもりでしたが、暮らしでみると分からぬことが多い難しいことだと思いました。子供の成長に合わせ、またリ

くらいでした。全体的に無駄のない設計で

もつと成長していなければね。と話しながら心嬉しい帰り道となりました。

かなかがわ県産材

リフォーム
事情

～地産地消！県産材を使う～
神奈川県は、丹沢、箱根などの山々に囲まれつつも豊かな木材資源を活用できていませんでした。
しかし近年、森林と地域の活性化などの観点からその有効利用が進められています。
私共もそれに共感し県産材の地産地消をすすめています。

創業以来、弊社も神奈川県産の木材の採用を検討してきましたが、安定量の供給と性能や品質の統一という観点から採用できずおりました。
神奈川県はその全面積の約40%程の広大な森林を保有しています。
森には大地に根を張り土砂の流出や崩壊を防ぐ機能、二酸化炭素を吸収し酸素を供給する機能、洪水防止機能や安定し良質な水を確保する機能など、森の能力を充分に発揮させるためには間伐が必要不可欠です。間伐とは適切に間引き、木々の間隔を確保することで残された木の成長を促し、光が地面まで届き土を肥沃化し、森を健全に維持するためのものです。しかし、この間伐が実施されずに森が荒れてしまいました。それはなぜか。木が木材として使用されなければ、森から木が伐採されますが、木材が伐採されると伐採された木の需要が高まります。この伐採が計画的に行われると間伐になります。

森には大地に根を張り土砂の流出や崩壊を防ぐ機能、二酸化炭素を吸収し酸素を供給する機能、洪水防止機能や安定し良質な水を確保する機能など、森の能力を充分に発揮させるためには間伐が必要不可欠です。間伐とは適切に間引き、木々の間隔を確保することで残された木の成長を促し、光が地面まで届き土を肥沃化し、森を健全に維持するためのものです。しかし、この間伐が実施されずに森が荒れてしまいました。それはなぜか。木が木材として使用されなければ、森から木が伐採されると伐採された木の需要が高まります。この伐採が計画的に行われると間伐になります。

創業以来、弊社も神奈川県産の木材の採用を検討してきましたが、安定量の供給と性能や品質の統一という観点から採用できずおりました。
神奈川県はその全面積の約40%程の広大な森林を保有しています。
森には大地に根を張り土砂の流出や崩壊を防ぐ機能、二酸化炭素を吸収し酸素を供給する機能、洪水防止機能や安定し良質な水を確保する機能など、森の能力を充分に発揮させるためには間伐が必要不可欠です。間伐とは適切に間引き、木々の間隔を確保することで残された木の成長を促し、光が地面まで届き土を肥沃化し、森を健全に維持するためのものです。しかし、この間伐が実施されずに森が荒れてしまいました。それはなぜか。木が木材として使用されなければ、森から木が伐採されると伐採された木の需要が高まります。この伐採が計画的に行われると間伐になります。



※参考元:林野庁ホームページ (<http://mokuzai-points.jp>) ※1P=1円換算 ※発行対象となる工事の期間:期間内に工事に着手したものH25.4.1~H26.3.31

住まいのお手入れ

第2回 屋根のメンテナンス

住まいの機能と性能を維持して、長く快適に過ごすために、お家のメンテナンスは欠かせません。このコーナーでは、毎回家の部位ごとに、日頃のお手入れやメンテナンスのポイントをお話したいと思います。

屋根のメンテナンス

屋根のメンテナンスのサイクルは素材により大きく異なります。必要なメンテナンス内容を知り、定期的に劣化をチェックし、メンテナンスをすることが長持ちさせる上で大切なことです。

瓦葺きは、瓦の種類と工法で異なります。粘土瓦には陶器瓦といぶし瓦があり、これらは塗装直しは不要です。セメント瓦は数年毎に塗り直しが必要となります。どのような瓦でも、瓦同士の繋ぎ目や棟の部分は隙間を埋めた部位があります。この部分が劣化すると雨水が浸入し剥がれやすくなるので定期的なメンテナンスが必要です。

粘土瓦

いぶし瓦

瓦葺きは、瓦の種類と工法で異なります。粘土瓦には陶器瓦といぶし瓦があり、これらは塗装直しは不要です。セメント瓦は数年毎に塗り直しが必要となります。どのような瓦でも、瓦同士の繋ぎ目や棟の部分は隙間を埋めた部位があります。この部分が劣化すると雨水が浸入し剥がれやすくなるので定期的なメンテナンスが必要です。



カラーメタル



カラーベスト

カラーベスト材は新築時から約10年毎の塗り直しが基本。表面の塗膜劣化により雨水が浸透し苔も生え、見栄えの問題度だけでなく雨漏りの危険度も増します。固定材料の釘の状態の点検も重要です。

金属屋根にも様々な種類があります。高価な銅板は、緑青という皮膜が表面を覆う独特な経年の意匠性と高い耐久性があり塗装直しは不要です。カラー鋼板は、塗装の劣化に伴いサビが発生しますので数年毎の塗り直しが必要です。ガルバリウム鋼板は、高い耐久性と価格のバランスが取れた材料で塗装の耐久性も高く、塗り直しの頻度も非常に長い屋根材です。どの金属屋根の場合も、下地には木材が使用されています。屋根の場合は、木材が定期的に点検が必要です。

チェックポイント

- ①棟や板金が浮いたり剥離していないか
- ②表面や重なり部分にコケが発生していないか
- ③屋根材自身がズレたり隙間が開いていないか
- ④表面の色が劣化して煤けていないか

優建築工房の 環境配慮型設計

風の通りのお話



VOL.2

皆さんは特定の地域に限つて吹く風、
地方風の存在はご存知ですか？

代表的なのは風(おろし)と言われる山から吹き下りる風。

その中でも六甲風は有名ですね。

そして、関東では、関東平野に吹く乾燥した寒冷な北風のからつ風。

山から吹き下ろす高温・乾燥の風として代表的な地方風フェーン現象と
いう言葉で使われるフェーンなど。

天気予報でよく耳にすると思います。

住まいづくりにおいては、当然これらの地方風の存在を知り、

意識することも重要ですが、最も意識しなければならないのは卓越風と
呼ばれる、ある地方で、ある特定の期間(例えば四季など)に吹く最も頻度
の多い風向の風の存在です。

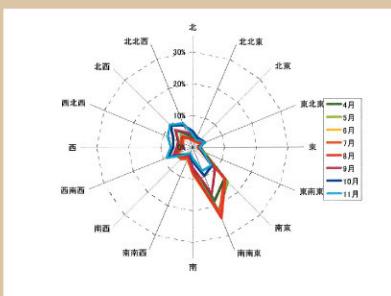
この卓越風も地方風の一種で、各地方気象台などで集計・統計化され、
地域ごとに風配図によつて表されます。

日本では、北風は冬の風、南風は夏の風として大まかに認識されていますが、
実は神奈川県内でも同じ夏場に吹く南風に微妙な風向きの違いがあり、
地方によつて東西に振れています。

皆さんのお住まいの地域の風を知り、この風を四季にかかわらず屋内に
上手に取り込むことが家の寿命を延ばし、屋内で快適に過ごす第一歩と
なります。

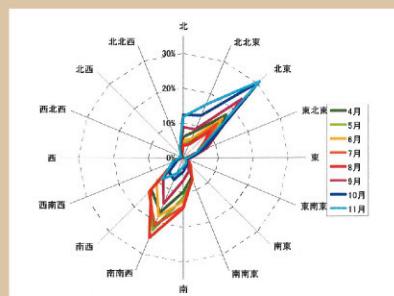
次回は、卓越風の取りこみ方の手法や工夫を紹介していきます。

■風配図



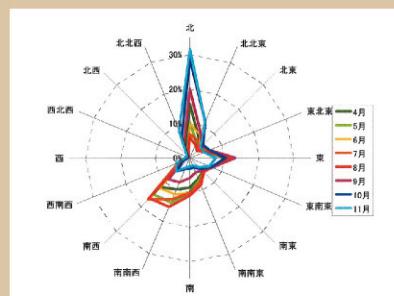
【小田原】

夏場、東寄りの南風が吹く傾向にある



【藤沢】

夏場、西寄りの南風が吹く傾向にある



【横浜】

夏場、西寄りの南風が吹く傾向にある

Season

-from yukoboke Kitchen-

超簡単！ キャロットサラダ

材料

にんじん	1本
干しふどう	適量
カッテージチーズ	適量
フレッシュドレッシング	市販のもの

を作る場合

オリーブオイル	3/4カップくらい
またはサラダ油	
酢	大2~3くらいい
塩	小さじ1~2杯
コショウ	少々
マスタード	小さじ1(入れなくても大丈夫)

一年中手に入るにんじんですが、一般的には秋から冬にかけてが旬。にんじんは栄養満点。
免疫力を高めガンや心臓病の予防にも効果があるそう。これから季節、風邪の予防にもピッタリの食材
ですが、案外嫌いな方も多いのかな～？でも、最近はスティック野菜などのブームで生でも食べられる
機会が多くなったように思いますので、超簡単なにんじんのサラダのレシピをご紹介。



1 にんじんを洗い、よく水を切り、千切りにします。



2 ボウルに、にんじんと干しふどうを入れ、ドレッシングを混ぜるだけ！



3 冷蔵庫で30分ほど置く。



4 カッテージチーズを入れ、軽くあえてできあがり。



GOOD!



美味しい！

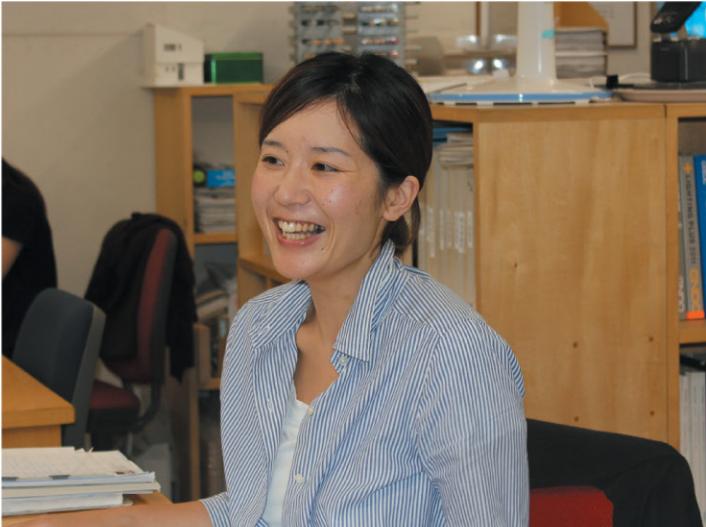
※分量は、にんじんの大きさに合わせて好みで。
※ドレッシングはフレンチがオススメですが、
好みで色々お試しください。

すぐに召し上がっても美味しいですが、時間を置くとぶどうの食感がプリプリになり、味も沁み込み食べやすくなります。

CLOSE UP STAFF

上田 美幾 Ueda Ikumi

設計部コーディネーター課



こんにちは。コーディネーターの上田 美幾です。図面の作成、内装や家具、照明といったお家のソフト面のご提案を担当しています。優建築工房に入社したのは6年前。当時はリフオームという仕事があることすらよく知らない、建築に関してはまったくの素人でした。

最初は事務兼アシスタンスとして働き、今、こうして木工を学びました。

本当に活きていると思っています。木から暮らし、そして住まいへ興味が変化したきっかけは、学生時代に経験したフィンランド留学です。極寒の地で、自然の恵みをシンプルに生かす暮らしが根付いており、家族で過ごす住まいそのものを何よりも大切にしていると感じました。ここで学び経験したこと、そこでの考え方は家作りに於いて、今も強い影響を受けています。

ちながるところが目標です。

てコーディネーターとして皆さんとお会いさせて頂いています。手を動かして何か作ることが大好きで、小学生の頃は母のカントリー雑貨の雑誌を読み、パッチワークやステンシル、ビーズに凝っていました。高校時代に読んだ本の中で「木を育て、家具を造り暮らす生活」に憧れ、短大では工芸科で木工を学びました。



作った小物入れと七宝焼

能工巧匠

のうこう
こうじょう

うちの腕利きの職人さんを紹介

第一回 大工 向川俊勝さん

お客様のお家を実際に造りあげる優建築工房の腕利きの職人たちを今号から順にご紹介して参ります。第一回目は、大工の向川俊勝さんです。



取材をお願いしたところ、恥ずかしそうにOKしてくれた向川さん、インタビュー時も照れながらポツポツとお話してくれました。大工さんになろうと思ったきっかけを伺ったところ「父親が大工で手伝いをするうちに興味を持ったのと、俺たちの時代は大変な時代だったから、何しろ手に職をつけて早く一人前になり、自分で食べられるようになることが先決だったんだよ。でも、この仕事は楽しい。完成し出来映えを見るとき、それまでの苦労を思い嬉しくなるよ。後で見えなくなってしまうからと言って隠れてしまう部分も手を



抜くことなく丁寧に仕上ることが大切なんだよ。まあ、職人は皆それは当たり前のことなんだけどね。」と俊勝さん。その言葉通り、養生ひとつとっても美しく現場にはゴミや木屑の散乱もなく、ここは入っていいところ?と何度も念押ししてからでないと現場へ上がれないほど綺麗。自分の仕事のためだけでなく他の職人さんやお客様のため現場の隅々まで気を配ってくれる繊細で優しく頼もしい大工さんです。

優café

「ブログもぜひご覧ください！」

優カフェはご来訪いただいたお客様への感謝のおもてなし。打合せ中にリフレッシュできますようメニューも取り揃えてみています。



3Dラテくま



自家のブランマンジェ

景色に味覚に素敵な季節となり、秋冬メニューを開始しています。この秋から話題の3Dラテなんていうものにも挑戦中です。ご来訪の折、お楽しみいただけたらと思います。

PRESENT

中村の手作りです



木の実のリース♪

「木の実のリース」をプレゼント！
クリスマスだけでなく秋から冬のあいだ長く飾っていただけると嬉しいです。

5名様にプレゼント！

【プレゼント応募】

①お名前 ②〒とご住所 ③電話番号 ④ご感想やご要望
以上をご記入の上、メール・ハガキ・FAXにてご応募ください。

応募〆切 11/6(水)〆切 当選発表は次号でお知らせします。
ご当選者へは、11/8(金)以降、発送をもってお知らせ致します。

【あて先】

メール nakamura@yukobo.jp

メールの件名に「プレゼント応募」とご記入ください

ハガキ 〒243-0815厚木市妻田西1-20-8 優建築工房

yukoboletter プレゼント係

FAX 046-294-4561

-壁掛けフック当選者-

平塚市・京急様/厚木市・菅様/藤沢市・桜井様/秦野市・遠井様/伊勢原市・三浦様

ご応募ありがとうございました